

平成28年度 横浜国立大学大学院国際社会科学府  
専門職学位課程 法曹実務専攻（法科大学院）

法学既修者コースB日程入学試験

# 公法系科目

時間 9:20～10:35

●注意事項（よくお読みください）

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 自分の受験番号と机の上の受験番号が同じであることをよく確かめてください。
3. 時計のアラーム、携帯電話等の電源は切ってください。
4. 机の上に置いてよいものは、①受験票、②筆記用具（鉛筆、ペン、消しゴム）、③鉛筆削り（電動式を除く）、④時計（携帯電話やPHSを時計として使用することは認めない）、⑤メガネ、⑥目薬、⑦ティッシュペーパー、⑧ハンカチです。これらは、予め机の上に置いておいてください。
5. 上記4で掲げた試験のために必要なもの以外は、かばんに入れて椅子の下に置いてください。電源を切った携帯電話も、身につけず、かばんに入れてください。
6. 配布物は、①問題冊子、②解答用紙、③下書き用紙、④六法の4種類です。足りないものがあつたら、挙手で合図し、試験監督にその旨申し出てください。
7. 解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入してください。解答用紙は、全部で3枚あります。そのすべてに受験番号と氏名の記載欄がありますので、漏れなく記入してください。なお、解答用紙はホチキスで綴じられていますが、その針は外さないでください。
8. 試験問題は、問題1～3の3つがあります。必ず指定の解答用紙を使ってください。解答用紙はそれぞれ両面になっています。
9. 試験時間は、75分です。中途退席は原則として試験開始後40分まで認めません。また、中途退席者は、再度入室することができません。試験終了直前の10分間も退席できませんので、よく注意してください。ただし、気分が悪くなったときや、トイレに行く必要があるときなどは、近くの監督者に挙手で合図し、遠慮なく申し出てください。
10. 試験開始後、受験者本人であることの確認（写真照合）を行います。その際は、監督者にご協力ください。

以下の3問、問題1から問題3にすべて解答せよ。

(配点：全問とも50点)

### 問題1

津地鎮祭事件判決（最大判昭和52年7月13日民集31巻4号533頁）を説明し、これを基に、目的効果基準について論評しなさい。

### 問題2

XはA法案成立阻止運動の中心人物の一人である。Xは、連休中の2015年9月20日にY県営B公園でA法案成立阻止集会を実施することを計画し、8月31日にY県に対し、B公園使用許可申請を行ったが、A法案賛成派との乱闘も予想され近隣住民が迷惑することなどを理由に使用は拒否された。9月7日、Xが地方裁判所にこの処分の取消しを求めて訴え出ていたところ、9月18日にA法案は可決成立した。Xの行うべき憲法上の主張をまとめなさい。

### 問題3

以下の問題にすべて答えなさい。解答に際しては、必ず説明の根拠となる法律の条文を引用すること。

- (1) 処分基準とはなにか、説明しなさい。
- (2) 法律では、処分基準を制定するための手続として、どのような手続を踏むべきこととされているか、説明しなさい。
- (3) 不利益処分を行うときは理由を提示する必要があるところ、理由の提示が求められる趣旨について説明した上で、処分基準が公表されている場合には、いかなる程度の理由を提示することが求められているか、判例に照らして説明しなさい。